



# コロナに負けない！ 福祉教育とは？

～キーワードは「ともに生きる力」～



# 社会が抱える「生きづらさ」

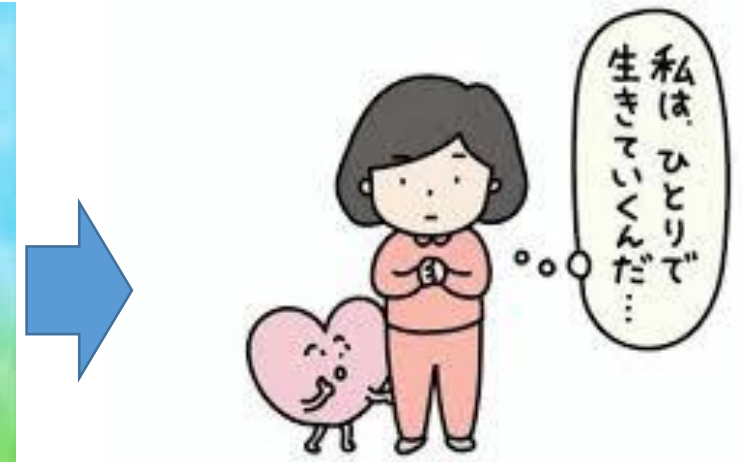
未婚、晩婚、少子化、独居世帯、高齢者のみの世帯など多様化



大家族(3世帯)



核家族(1世帯)



単身家族(おひとりさま)

コミュニティ機能の脆弱化

無関心

社会的孤立

様々な問題

人とつながる力が弱くなってしまっている

- 社会の中に自分の居場所がない
- 将来の展望が描けない
- 疎外された孤立状態

イジメ、暴力、不登校、引きこもり、ネグレクト、老々介護、ゴミ屋敷、孤独死、自殺...



# 福祉教育って何？

昔は…  
障がい者や高齢者、  
困っている人を  
助けるのが福祉  
**弱者救済＝福祉**



福祉って  
どういう事？

車イスの人は  
可哀そう！

目が見えない人  
は大変そうだなあ

ぼくは健康体  
でよかった！



思いやる心は  
大切だけど…  
なんだか他人事  
になってない？

「支える側」と「支えられる側」にわかれる＝貧困的な福祉観

# 福祉教育って何？

今は…  
ふだんの  
くらしの  
しあわせ

自分や他人が幸せにくらすこと = 福祉

福祉って  
どういう事？

スカートより  
ズボンが好き

ぼくは本が  
大好き

ぼくは友達と遊んで  
いる時間が幸せ！

話し相手が  
いて嬉しい

幸せのカタチは  
人それぞれよ♪

私はオリンピックで  
メダルを取りたい！

頼りにされて  
誇らしいな！

一人ひとりの考え方、生き方を尊重 = 多様性を認める

**「ともに生きる力」を育む = 福祉教育**





# 「ともに生きる力」ってどんな力？



いじめ



暴力



言葉による暴力



ただ歩いていた  
だけなのに

コロナを広めた東洋人め！  
この国から出ていけ！



コロナ禍、  
こんな悲しい  
ニュースがあり  
ましたよね・・・



差別

自分の考えだけが正しい  
という人がいっぱいいたら  
世界はどうなるの？



「ともに生きる力」がないと、いじめ、差別、暴力、はなくならない  
どんな未来を託したいのか？大人も一緒に学ぶ必要がある

# 福祉教育は「ともに生きる力」を育くむためにある！

福祉教育には「こうすればいい」という正解がありません。自分や相手にとって「ふだんのくらしの幸せ」をどうしたら実現できるのか？「他人事」ではなく、「我が事」として捉えることができる学びは、福祉教育だといえます。

家庭で

学校で

福祉  
教育

地域で



どんな場所でも、福祉教育は行える！

# ①学校で行われる福祉教育「疑似体験プログラム」

アイマスク体験



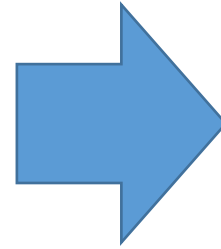
高齢者  
疑似体験



手話・点字



車いす体験



目が見えない  
人は大変そう  
だなあ

車イスの人は  
可哀そう！

ぼくは健康体で  
よかった！



やっぱり他人事  
になってない？



疑似体験プログラムを行っている学校は多いが、「内容」と「目的」  
が合わないと「**負の部分**」しか伝わらない場合がある



# 疑似体験プログラムの「負の部分」とは？



アイマスク体験を通して、目が見えない人の生活を理解しましょう！

目的

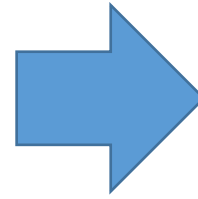


疑似体験プログラム(アイマスク体験)

怖かった

真っ暗な世界で  
歩きにくかった

**負の部分**



「暗くてこわい」というマイナス部分の体験から「目が見えない人の生活は怖い」という理解につながる恐れもある



アイマスク体験を通して、ガイドヘルプの方法を学びましょう！

たとえば…

その体験を通してできる  
目的をはっきりさせる

大切なことは疑似体験プログラムの「内容」と「目的」の一致！また、「できない体験」で終わるのではなく「できる体験」をすることも重要です



# 「できる体験」とは？



那覇市より視覚に障害がある金城あやか先生をお招きして視覚以外の五感を使ったアイマスク体験(ゆたか小学校)



長さが違うみたい！



ザラザラしてる

リンゴの匂いじゃない



ブツブツがついてる！

炭酸？

子どもたちは、触ったり、匂いをかいだり、見えない中でも自分の感覚を使い色々な情報に気付く！



「できない」ことを知る疑似体験だけでなく「できる」ことに着目した体験や、当事者の語り、対話、交流体験などを合わせる事が大切です！

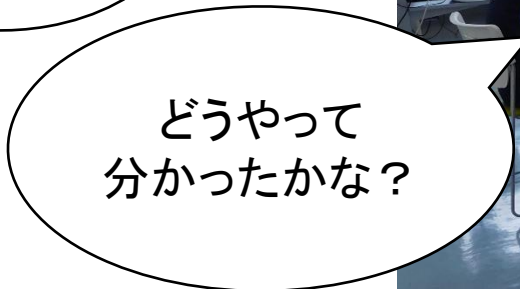


# コロナ前の福祉教育

H31年7/17 福祉講話（ゆたか小学校）



これは千円  
だね！



どうやって  
分かったかな？



豊見城市在住で視覚に障害のある仲宗根さんを講師にお招きし、普段の暮らしの中での工夫や体験などお話ししてもらいました



すごい  
なあ



講話後、仲宗根さんが持ってきてくれた絵本やソロバン、音のなるボールなど、興味津々に触れて確かめる子ども達



# コロナ禍での福祉教育

R2年11/25 福祉講話（豊崎小学校）

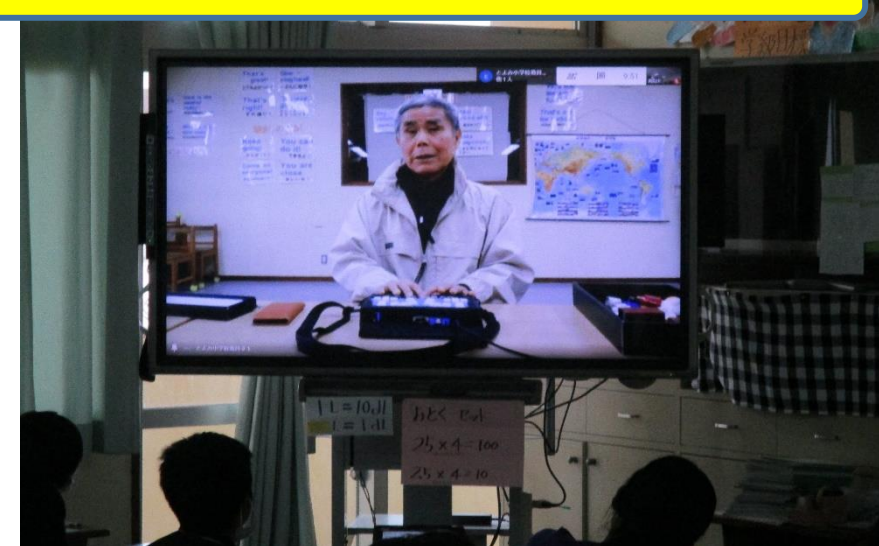


体育館で大型のモニターを使い、仲宗根さんをお招きして福祉講話



# コロナ禍での福祉教育

R3年1/18 福祉講話（とよみ小学校）



小学校の設備が整っていたことからオンラインを使い、仲宗根さんをお招きして福祉講話を開催



動画も子ども達からの質問もリアルタイムで届きます！

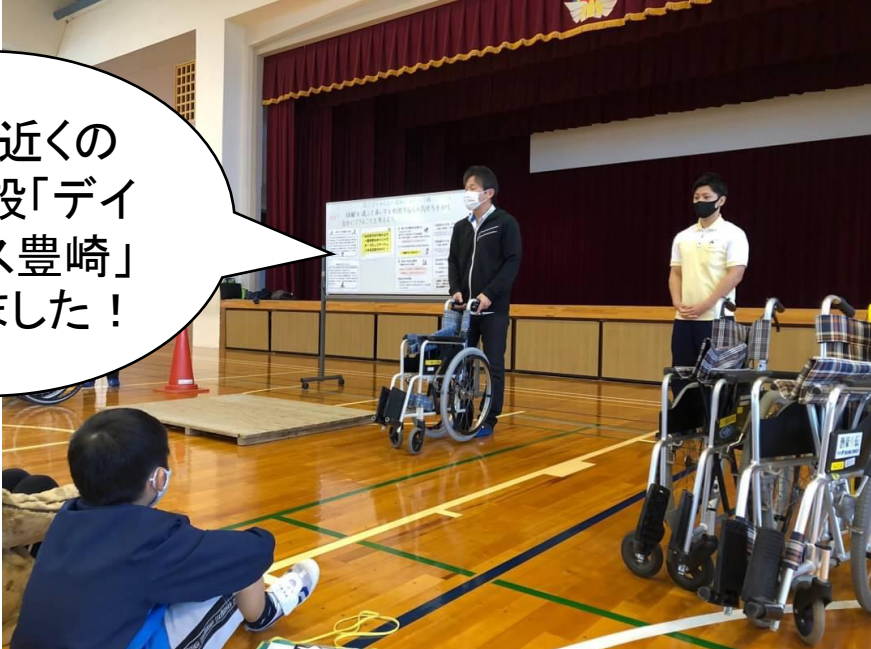
教室とは別の部屋から発信し、子ども達は各クラスで同時に参加！



# コロナ禍での福祉教育

R2年12/16 車イス体験（豊崎小学校）

小学校近くの介護施設「デイサービス豊崎」から来ました！



段差がある時はどうしてたかな？

2020/12/16 10:44

「デイサービス豊崎」から伊波課長と職員の2名がボランティアで参加！介護現場で働く生の声を聞きながら、車イス体験！



後ろは保護者

2020/12/16 10:42



声掛けが大事だよ～

段差に気を付けて

2020/12/16 11:10

コロナ予防に手袋をつけて車イス体験！



2020/12/16 11:10

豊崎小では福祉体験の時に保護者がお手伝いに来てくれるため、危険箇所も安心してコース設定ができます！



# 車イス体験後の質問タイム



一人でいる時に  
段差があったら  
車イスでどうやっ  
て登ればいいん  
ですか？

バリアフリーもまだまだ追いついて  
いません。皆が大人になる時には  
障がいを持っている方がもっと  
住みやすくなるよう、皆さんがそ  
ういう世の中を作ってください！

普段、皆さんが何気なく歩いて  
いるちょっとした段差も車イスで  
は一人で登れません。  
**だから介助が必要なんです。**



子どもたちからは「あはあ〜」と  
納得の声が聞こえました♪



現場で働く生の声を聞くことができ、体験を通して介助の意味に気付いた子供たち

# 豊崎小学校で普段行われている活動

令和1年7月3日  
～ふれあいタオル贈呈～

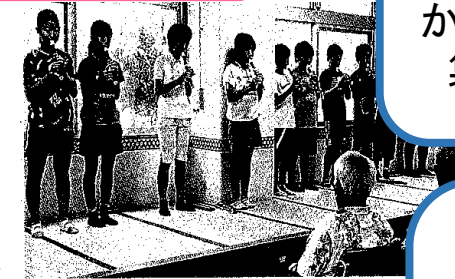
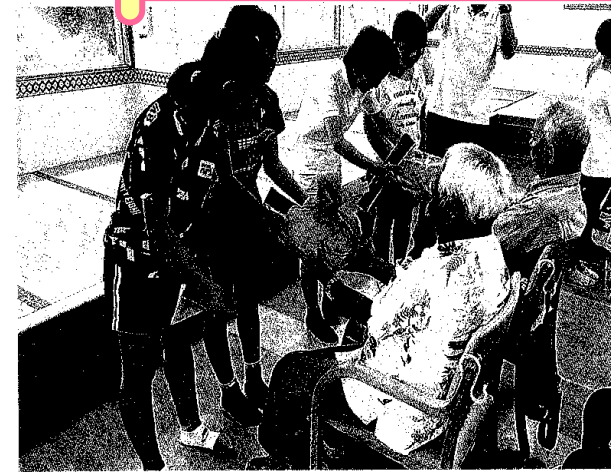
ボランティア委員会を中心に全児童に呼びかけ、未使用タオルを集めて施設へ贈呈

令和1年12月18日  
～エイサー演舞を披露～

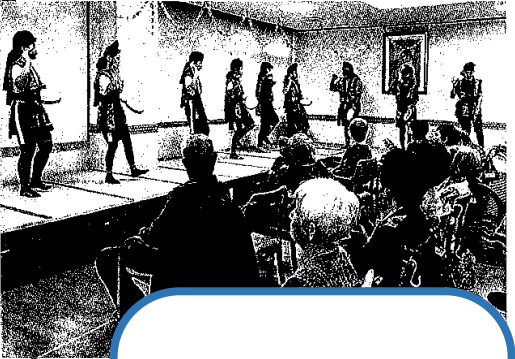
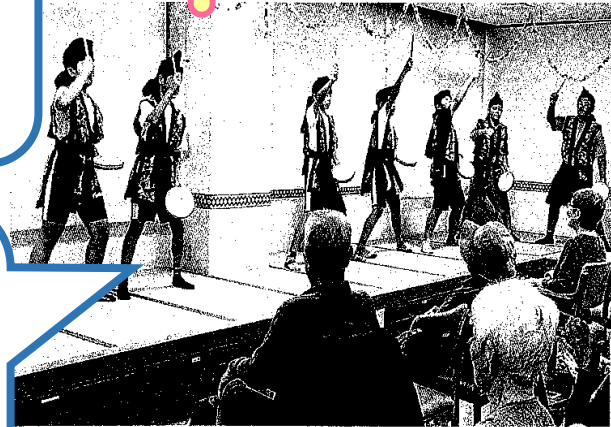
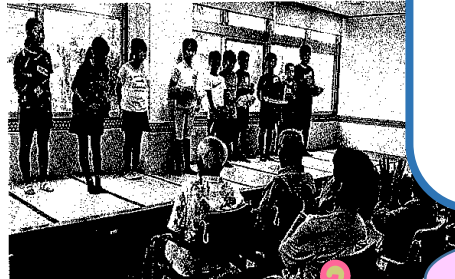
ボランティア委員会の児童12名が運動会で演技したエイサー2曲を披露♪

かわいいイラスト入りのプランター♪

これまでの交流活動の感謝と次年度の交流依頼のため、ボランティア委員会で育てたお花を贈呈



リコーダーも演奏しました♪

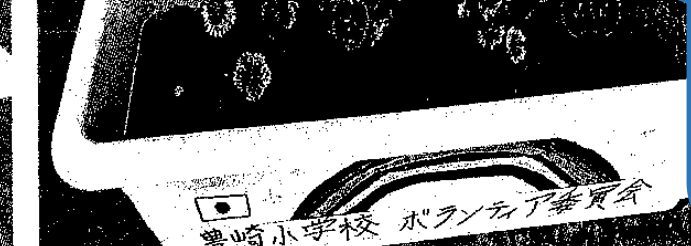
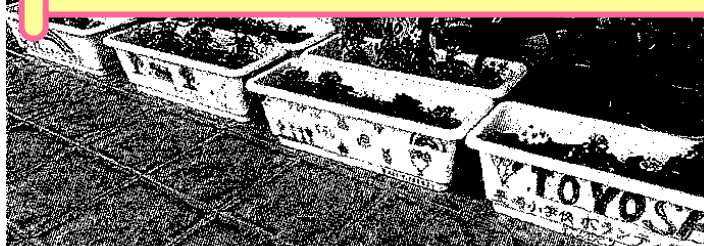


運動会で演技したエイサーを2曲披露しました！  
緊張したようすだったが、後半は笑顔がみられました。

～タオル贈呈式～

「大切にに使わせていただきます。」「ありがとう。」  
と言われ笑顔になりました^0^♪

令和2年2月～3月  
～種から育てたプランターを贈呈～

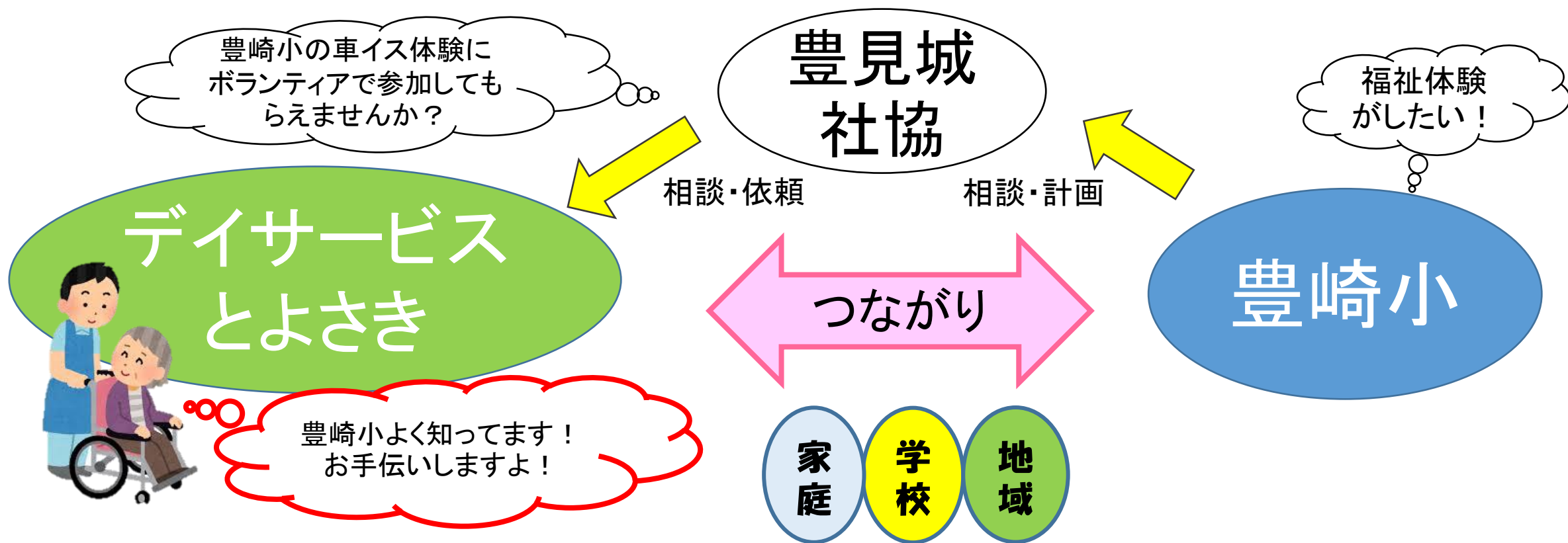


豊崎小学校では、1年を通して定期的にデイサービス豊崎と関わりを持っています！



# 学校で行う福祉教育で大切なこと

地域には、学びにつながる場所がいっぱい！  
地域にある様々な学びの場とつながりを持ってください！



普段からの交流も実は福祉教育につながっている



# ② ボランティア活動を通じた福祉教育 ～共同募金活動～



- 赤い羽根共同募金 (10/1～12/31)
- 歳末助け合い募金 (12/1～12/31)



さまざまな地域福祉の課題解決に取り組む民間団体を支援するため「自分の町をよくするしくみ」として毎年10/1～12/31の3ヶ月間、全国で一斉に募金活動を実施。市内学校にも協力を頂いています！ ※募金の使い道は「赤い羽根データベースはねっと」にて掲載

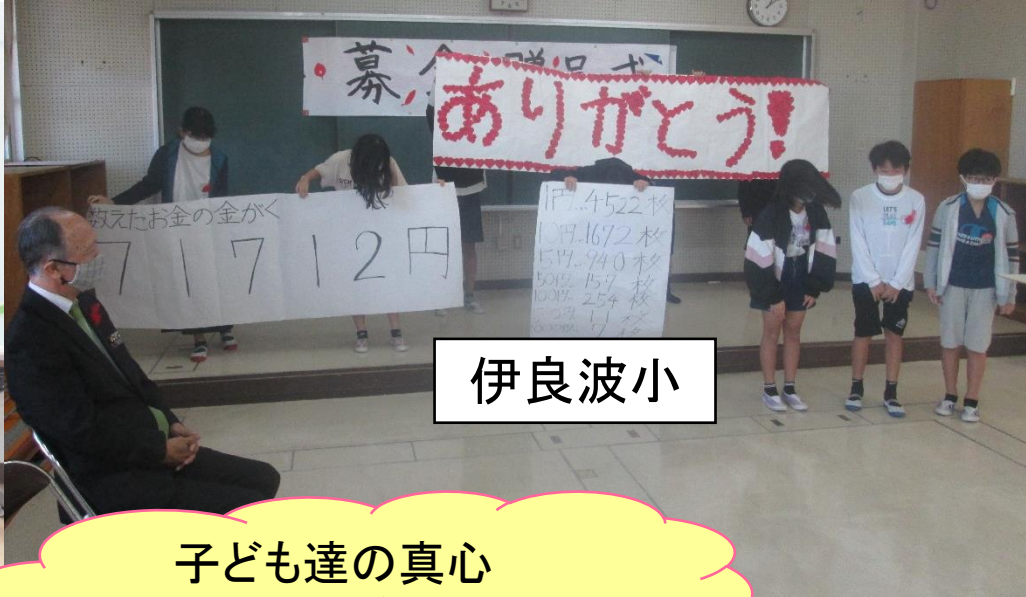


とよみ小学校～赤い羽根募金贈呈式～





座安小



伊良波小



ゆたか小

子ども達の真心  
ありがとうございました



長嶺小



とよみ小



豊見城小



上田小

赤い羽根共同募金贈呈式  
市内各小学校にて(R3年度)





# コロナ前の募金活動

市内の小・中・高校の学生たちが毎年ボランティアとして募金活動に協力してくれます！



募金のご  
協力をお  
願いし  
ます！

ありがとう  
ございます





# コロナ禍の募金活動

集団や密な活動はNG！

大きな声で募金協力の呼びかけはNG！



どんな事が  
できるかな？

豊見城社協  
ボランティア担当

- ①募金箱の作成
- ②ポスターの制作
- ③街頭アナウンスの収録（協力）



# 子ども達が募金箱、ポスターを作成

子ども達の  
アイデアが  
スゴイ！



市内の小・中・高校から子ども達手作りの  
募金箱やポスターを提供してもらいました！



# コロナ禍の募金活動

手作りポスターや募金箱、CDで音声を流し、できるだけ声を出さないよう募金活動



募金のご協力を  
よろしくお願ひします♪  
子どもの声を録音





# コロナ禍の募金活動で良かった点

- 通常の募金活動以外で、募金箱やポスター制作、CD音源の協力など、違った形で活動に協力してくれたことがとても良かった。
- 通常のポスターより、子どもたちの手作りポスターや募金箱を利用すると、見る人が興味をもって進んで募金をしてくれました！



このポスター  
上手だね～！





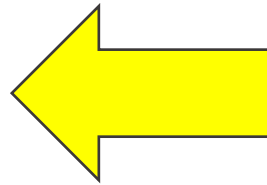
# ③ 豊見城中学校JRC部の活動(R2年)

どんな事が  
できるかな？



豊見城社協  
ボランティア担当

豊見城  
社協



豊見城  
中学校

地域の一人暮らし  
の高齢者に年賀状  
を送りたい！



豊見城中学校  
JRC部担当先生

(課題)

- ・コロナ禍なので直接会う事が難しい
- ・「一人暮らし」の個人情報を伝える事が難しい

直接、会えなくてもできる交流って何だろう？

# 年賀状で高齢者と交流！

対象：地域高齢者（社協ミニデイサービス/高安・上田・とよみ）

内容：豊見城中学校JRC部員で60枚の年賀状を送る



顔がわからない相手からもらう  
ハガキってどうなんだろう？

本来は・・・

交流する→顔見知りとなって→年賀状で交流を深める

この部分の代わりに・・・

- ・ポスター作成
- ・DVD作成

子ども達には高齢者の事を  
知ってもらい、高齢者にはJRC  
部の活動を知ってもらうきっか  
けにしてはどうだろうか？



# ミニデイの様子をDVDと紹介チラシでJRC部へ

とよみミニデイ



上田ミニデイ



高安ミニデイ



地域の高齢者の様子を知ってもらいきっかけづくり




# JRC部からポスターが届きました！

## 豊見城中学校

アナウンス収録

募金箱作り

ポスター作り



活動内容

- 毎日のトイレ掃除
- 赤い羽根共同募金
- 赤い羽根募金箱, 赤い羽根ポスターの作成
- 街頭募金用アナウンス収録
- 地域へのボランティア活動
- 地域のお年寄りへの年賀状作成

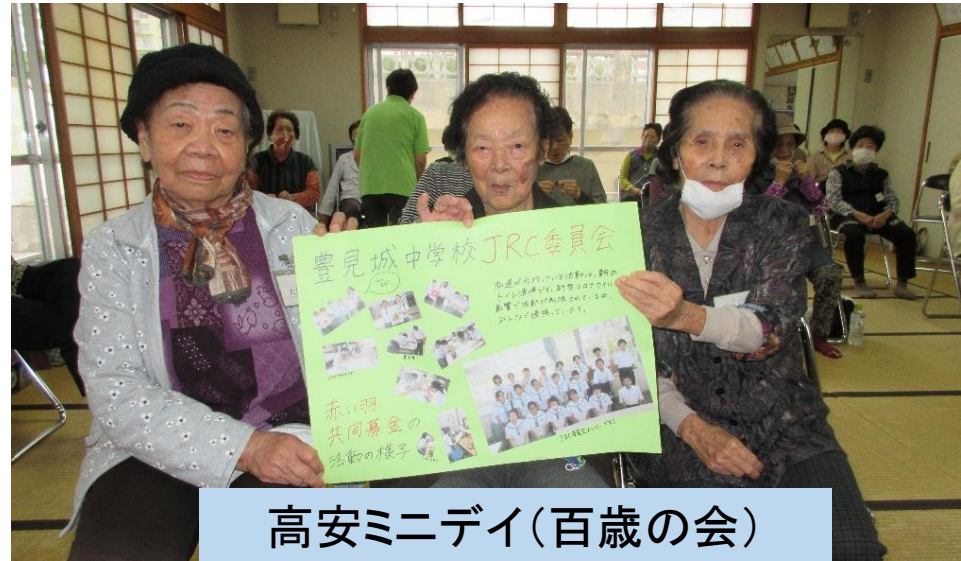
JRC委員会

とよみミニデイ  
元教員の津森さん



学校でボランティア活動をする部活があって子ども達が頑張っていますよ～

こんな活動をしている子どもがいるって知らなかったさ～



高安ミニデイ(百歳の会)



上田ミニデイ(若松友の会)

ミニデイ参加者には学校教員だった方も多く、その方が他の参加者にお知らせしてくれました



# 年が明けて、年賀状が届きました！

ありがとうね～！



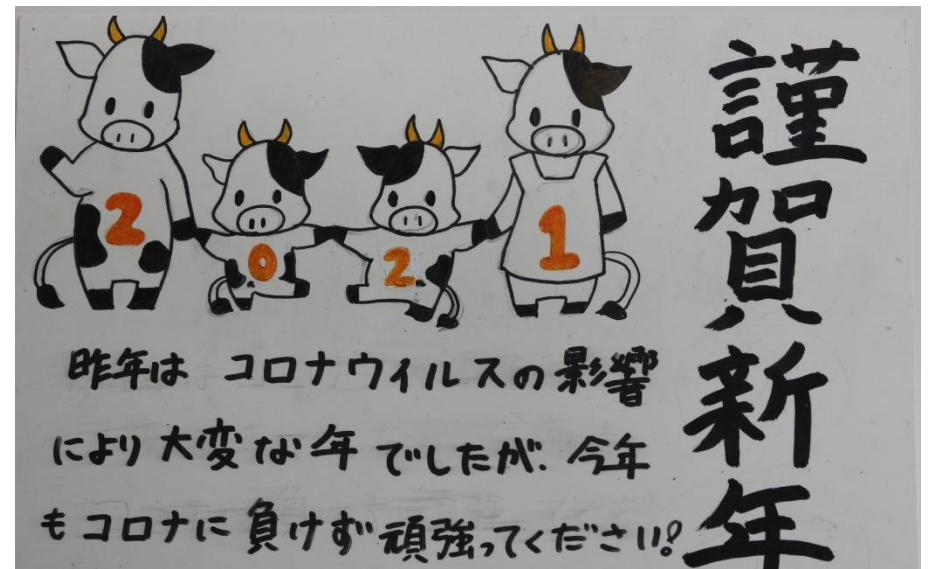
上田ミニデイ(若松友の会)



とよみミニデイ(スマイリー会)



高安ミニデイ(百歳の会)





# 「年賀状で高齢者と交流」良かった点

- コロナ禍で活動自粛が続く高齢者への励ましにつながった。
- 高齢者は、地域でボランティア活動をする子供たちを知り、子どもたちは、地域の高齢者がどんな活動をしているのか、お互いを知るきっかけになった。



コロナ禍でも、ハガキを使った交流ができて良かった！

豊見城社協  
ボランティア担当

# 「年賀状で高齢者と交流」で感じた反省点

- 年末まで時間がなかったため、学校と社協の担当者だけで交流の方法を決めた。「コロナ禍でもできる交流の方法」を子ども自身で考えてもらうことが大切だったのではないかと？
- ポスター作成や活動紹介DVDでお互いの活動を知ることにはできたが、コロナ禍もあり、その後の交流までにはつなげる事ができなかった。



豊見城社協  
ボランティア担当

子どもたちが自分の頭で考える  
チャンスを奪ってしまったかも



### ③ コロナ禍、地域で行われていた活動

北分譲「ラジオ体操 あさひの会」

根差部「花友会」

上田山川自治会の取り組み

地域には「ともに生きる力」のスペシャリストがいっぱい！

# 北分譲 「ラジオ体操 あさひの会」

- ・月～土 朝6時半～
- ・北分譲公民館横芝生



2015年夏休み子ども達とのラジオ体操をきっかけに、夏休みが終わった後も「もったいないから続けよう」と始まり、今年で活動7年目を迎える





コロナ禍は活動休止となりましたが、「参加者の閉じこもりによる心身の落ち込みが気になっていた。皆で話し合いをし、屋外の活動なのでお互いにコロナを予防しながら活動することを決めた」そうです。





ラジオ体操第1・第2の後、沖縄音楽にのせたりズム体操をなんと！6曲も踊ります♪これが一日の元気の源！



# 北分譲「ラジオ体操 あさひの会」



ラジオ体操から広がる 人と人をつながる力  
地域で行われている「ともに生きる力」です！



# 根差部 花友会

- ・会員が好きな場所で活動
- ・根差部地域、その周辺



地域の「花好きさん」で草花の植栽を通して美化活動などを行っています。根差部地域やその周辺の小学校にはきれいな草花がいっぱいに広がっています！





子ども達が  
作ったこいの  
ぼりを長嶺小  
の壁面に飾り  
ます

2022/04/26 09:40

僕たちが作った  
こいのぼりだ～！



コロナ禍も「お花は水を上げないと死んじゃうのよ～」と休まず活動を続けてきました。根差部地域、長嶺小、とよみ小周辺は色鮮やかな草花でいっぱいです！



# 根差部 花友会



「お花が好き」を通して 人と人とつながる  
地域で行われている「ともに生きる力」です！



# 上田山川自治会の取り組み

- ①布マスク手作り隊
- ②コロナ予防接種予約代行
- ③庭木の剪定
- ④買い物支援・とくし丸

上田山川自治会では「地域の高齢者のために何かできる事はないか？」と自治会を中心に様々な活動を始めています



# ①『布マスク手作り隊』 R2年5月

令和2年、新型コロナ感染が始まり、上田山川の青年会から「マスクがなくて困っている人がいるかもしれない。私たちに何かできる事はないか？」と声があがり『布マスク手作隊』を結成！自宅に眠っている布でマスクを作成し、必要な世帯へポスティングを行いました。



マスクが手に入らず  
困っていた。  
とってもありがたい！

自宅にある布を利用して自粛時間を利用して布マスク作り！



仲程自治会長(左)と野崎副会長(右)でポスティング(R2年当時)

マスクを受け取り嬉しそうな知念さんご夫婦



# ②『コロナ予防接種予約代行』 R3年6月

地域の高齢者から「予防接種の予約ができなくて困っている」と聞き、上田山川の青年会が集会所で予防接種の予約代行をお手伝いしました。



仲程会長

近所の方に「ウェブって何ね～？」と聞かれて、もしかしたら困っている方が他にもいるかもしれないと思い、青年会に声をかけてみました！



休日を利用して高齢者のために活動する青年会メンバー



スムーズに予約ができて感謝



2年前に引っ越してきたが子どものために色々としてくれる良い地域です！自分にできる事は協力したい！



困っている方がいたら自然と助け合い



# ③『高齢者宅庭木の剪定作業』 R3年11月



きれいになって  
うれしいさ~

上田山川では、『自治会だより』  
で「高齢者の困りごと（庭木の剪  
定・高所作業・悩み事）相談」を  
受け付けています。





# ④『買い物支援・とくし丸』 R4年7月



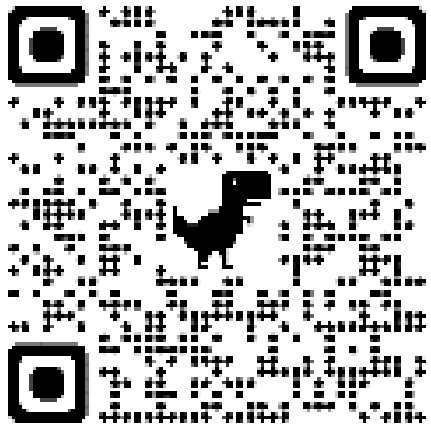
近くにスーパーとみえーるはありますが、急な坂道が多い地域なので、買い物帰りの高齢者が荷物を抱えて途中休憩をする姿を見たり、買い物に行けずに困っている方がいると聞いた自治会がとくし丸号とつながり、買い物支援が始まっています。



# 地域の多様な取り組みをご紹介しています



社協HPの生活支援コーディネーター  
ブログに、地域の情報を掲載中！  
ぜひそちらもご覧ください♡



新ブログ



旧ブログ

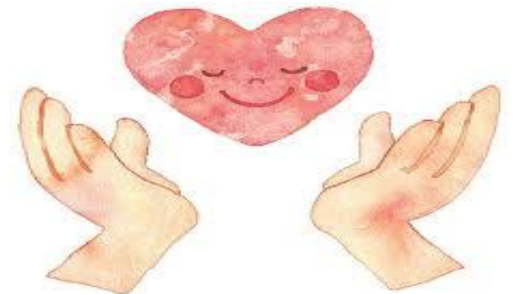


豊見城市社会福祉協議会 (TEL:098-856-2782)  
生活支援コーディネーター: 田仲・上原・ひかる



# 「ともに生きる力」につながる福祉教育を

- ・福祉教育には、「これが正解！」というものない。
- ・コロナ禍は、人と人とのつながりが弱まる傾向にある。つながりを切らない工夫など福祉教育を学ぶチャンス。
- ・家庭、学校、地域、施設などとつながりをもち、それぞれで行われている「ふくし」に目を向け「ともに生きる力」を大人も子どもも一緒に育んでいきましょう。





ご清聴ありがとうございました♡

